

指定校番号	28050	学級活動		児童会・生徒会活動	<input type="radio"/>	学校行事		別紙様式
-------	-------	------	--	-----------	-----------------------	------	--	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中中央小学校	校長	埜田武浩	生徒指導主事	南角明
-----	-------------	----	------	--------	-----

**取組事例名** 『たてわり活動』

**取組のねらい** 『キーワード：高学年リーダーとしての主体性の育成』

たてわり活動を通して、5・6年生のリーダーが班をまとめるためにはどのようにするとよいのか考えたり、実践したりしながら主体性を育成し、あこがれのリーダーとして学校全体に主体的な姿を示すことができる。

**取組の具体的内容** 『キーワード：活動の場や機会の確保』

- たてわり活動を3つに分類し実施。
- ①学校愛・奉仕の心の育成，掃除の仕方の定着のための「たてわり掃除」  
※毎日の掃除時間に実施
  - ②居場所づくり・規範意識向上のための「たてわり遊び」  
※月に一度，学校行事として実施。たてわり班ごとに遊びを計画し，遊ぶ。
  - ③地域社会への貢献・中学校との行動連携のための「クリーンキャンペーン」  
※年に一度，中学校生徒会が企画・運営する地域のボランティア（清掃）活動にたてわり班で参加。

**取組の課題・創意工夫** 『キーワード：うまくいかないリーダーへの指導・助言』

**【課題】**  
一人の教員が3～4班・40人程度の児童を担当するため，効果的なタイミングで適切な指導や助言を行うことに難しさがある。行き詰まり感を感じて自ら相談に来る児童もいるが，適宜・適切な助言を行うことができる環境づくりが必要であるとする。

**【創意工夫】**  
リーダーに対する事前の指導を充実させる。新しい取組を始める前には必ず取組の実施方法や各学年に応じた目的，リーダーに求められること等について5・6年生を対象に話をしたり，計画を立てさせたりする時間を確保し，リーダー自身が見通しをもち，自信をもった状態で取組を実施できる状態を作る。

**取組の成果（効果）** 『キーワード：リーダーの主体性の育成・下学年のリーダーに対するあこがれ』

- 全ての活動において，活動中の問題発生に対し下学年児童が担当教員ではなく，リーダーに相談する姿が見られるようになった。
- ①たてわり掃除  
リーダーが担当教員の指示や確認をしなくても，掃除の分担を計画したり，班のメンバーの実態に合わせて分担を変更したりするようになった。
  - ②たてわり遊び  
「活動は楽しかったですか。」という振り返りの質問項目に対し，肯定的にとらえる児童の割合が98%であった。ほとんど全児童がたてわり遊びを肯定的に捉え，楽しむことができている。また，高学年リーダーに対して「下学年に対して分かりやすく，説明や指示をすることができましたか。」という振り返りの質問項目に対して96%と下学年を意識した声かけをしていることが分かる。
  - ③クリーンキャンペーン  
中学校生徒会が児童の前で堂々と活動の企画・運営をする姿を見ることができ，中学生へのあこがれをもったり，中学校生活にも見通しをもったりすることができた。

### たてわり活動事前指導



たてわり活動の目的等真剣に話を聞いて活動をイメージしています。



そうじマニュアルをもとに掃除の分担を考えています。

### クリーンキャンペーン



中学生の挨拶です。中学生の堂々とした姿にあこがれをもつことができました。

### たてわり遊び



班で仲良くカードゲームを楽しんでいます。

### たてわり掃除



高学年が掃除の仕方の手本となっています。



リーダーを中心に振りまき掃除を返してリを掃り返して。

## 今後の展開

### 『キーワード：さらなるリーダー性の育成のための児童会執行部によるたてわり活動の運営』

今年度活動中は全て高学年リーダーが班をまとめていたが、事前の計画や事前のリーダーへの指示・説明等は教員が行っていた。さらなるリーダー性の育成を目的に事前～事後までの企画・運営を児童会執行部に任せ、その姿を執行部以外の高学年リーダーに示すことで、高学年リーダー全体がよりリーダー性をアップすることができるような仕掛けをする必要がある。また、成功事例だけでなく、失敗やうまくいかなかった事例を交流し、解決策を自ら考えるというリーダー会を仕組むことも大きな次のステップにつながるものと考えられる。

### 他校へのアドバイス『キーワード：事前指導の充実』

今年度初めての取組であったが、初めての活動の前には必ず5・6年生全員を対象に事前指導を行った。その際、「リーダーとはどんな人か」「リーダーに求められるもの」「3つの間（仲間・空間・時間）を大切にすること」「班をまとめる際の留意点」「活動の内容」「各学年のねらい」「実際に計画を立てる」等について話をしたり、考えさせたりすることでリーダー自身がしっかりと見通しと自信をもつことができるようにした。そうすることで、リーダーの指示や説明で活動を進めることができた。

うまく活動できることだけでなく、全ての活動にはそれぞれの学年に個別の目的があり、ただ楽しんだり、仲良くなったりするだけでなく、目的を達成し、全員が成長するための活動であるという価値付けをしっかりと行うことが大切だと感じた。